

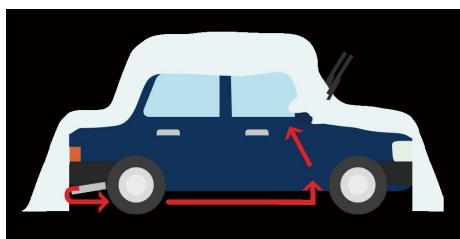
スノーケル SNOW FUJITSUBO KEEL

取扱説明書

この製品は
積雪による自動車車室内一酸化炭素中毒の予防
を目的とした排気補助部品です

積雪により排気管（マフラー）出口が塞がれた際に
排気ガスを適切に排出することで車内に入り込むことを予防します。
※本製品は車両や乗車員の安全を保障するものではありません。

積雪時のイメージ



SNOWKEL 装着イメージ



装着方法は動画でも紹介しています



必ずお読み下さい



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負うこと及び物的損害の発生に至る切迫した危険状態を示します。

【使用中は車両を移動させないで下さい】

- 本製品は停車した車両に使用する為のものです、車両を移動させる際は必ず車両から取り外して下さい。
- 本製品を装着したまま走行した場合、落下による重大な事故や怪我に繋がります。
また、**本製品を装着した状態で公道走行は出来ません。**

【用途以外の使用禁止】

- 本製品を誤って使用した場合、重大な事故や怪我に繋がる場合がありますので取扱説明書をよく読み正しくご使用下さい。
- 正しく機能することが出来ない状況（暴風や製品の出口を超える積雪）や悪天候の際は、飛散・落下や配管詰まりなどによる重大な事故や怪我に繋がる場合がありますので使用しないで下さい。

【使用中及び作業中の火傷や怪我に注意して下さい】

- 排気管は熱くなるので触ると火傷します、必ずエンジン停止後、排気管全体が冷えてから作業用の手袋等を着用して作業を行って下さい。

【燃えやすい物の近くで使用しないで下さい】

- 草むらなど周囲に燃えやすい物がある場所では使用しないで下さい。

【装着は確実に行って下さい】

- 正しい装着が出来ないと使用中に重大な事故や怪我に繋がりますので、装着作業は確実に行って下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

【改造しないで下さい】

- 本製品の改造を行った場合、正しい装着が出来なくなり、思わぬ事故や怪我に繋がる場合があります。

【丁寧に扱って下さい】

- 本製品を装着前または装着中に落としたり、強い衝撃を与えたりすると、変形して正しい装着が出来なくなる場合があります。

【用途以外の使用禁止】

- 本製品は水害時（洪水・水没等の対策）には使用できません。

【使用前に確認・点検をして下さい】

- 汎用品の為、必ず降雪前に手順通りに装着が出来ることを確認して下さい。
- ゴム部品を使用している為、劣化が確認された場合は使用しないで下さい。

【使用中は確認・点検をして下さい】

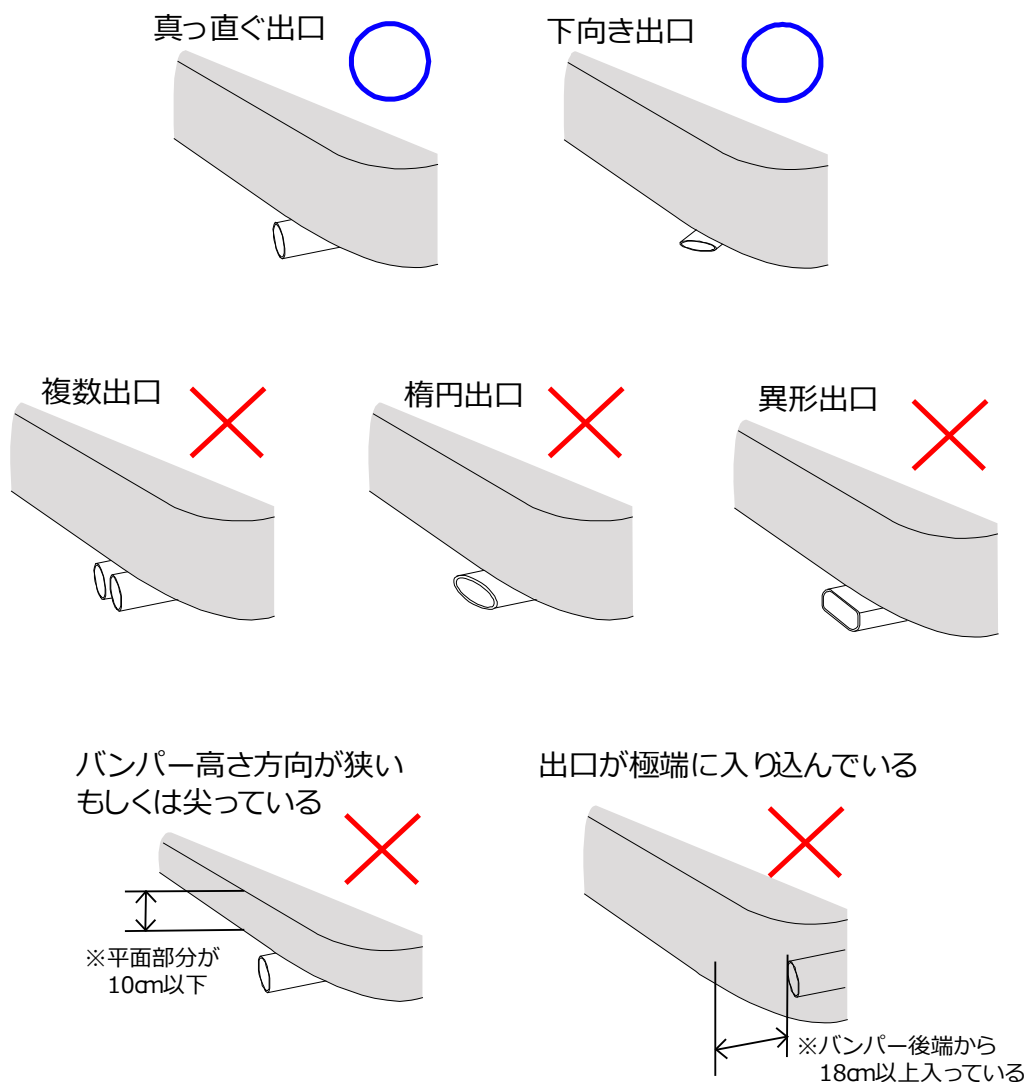
- 使用中は製品の変形や積雪・凍結による配管詰まりなどに注意して、定期的に装着状態の確認・点検を行って下さい。
- 降雪時に使用する場合、長時間の使用は避けて使用中は定期的に換気・点検を行い、製品出口が雪で覆われない様に雪かきを行って下さい。
- 再始動の際は必ず装着状態を点検し、正しく機能するか？確認して下さい。

- 製品名称 : EXH+ SNOWKEL (スノーケル)
 - 製品番号 : 070-20001
 - 装着可能な出口口径 : 直径30mm~40mm
- ※マフラーカッター装着車は取り外してから使用して下さい

★本製品を装着して公道走行した場合、保安基準適合外となります。

- ★本製品は汎用品のため、全ての車両に装着出来る訳ではありません。必ず降雪前に手順通りに装着出来ることを確認して下さい。
- ★一般的な軽自動車の純正マフラー向けに開発した製品です。複数出口 (W出し、左右出し等)、大口径や異形出口 (マフラーカッター・スポーツマフラー装着等) の車両には装着出来ません。また、出口形状や向き、バンパー形状等によっては本製品が取り付け出来ない場合があります。
- ★ゴム部品を使用している為、劣化が確認された場合は使用しないで下さい。
- ★装着作業中に車両に傷が付かない様に注意して作業して下さい。必要に応じて車両や本体等に養生してから作業を行って下さい。

装着可能な排気管出口について(代表例)



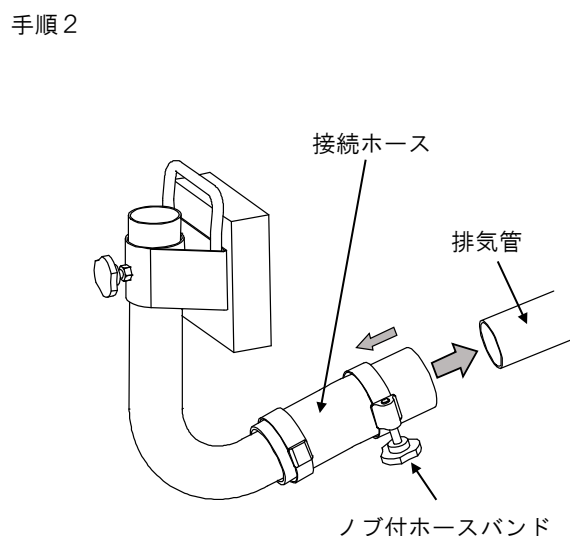
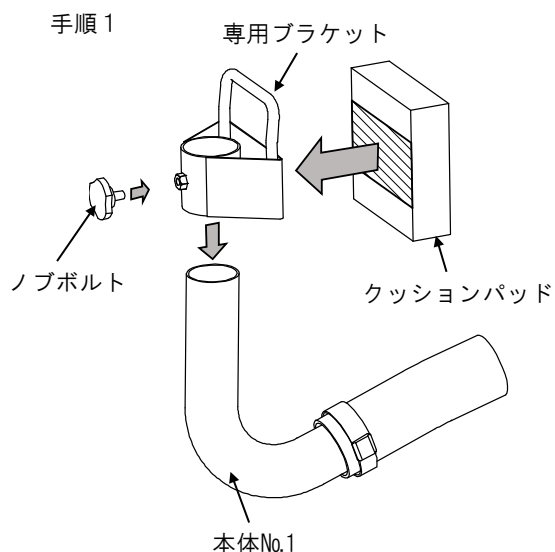
- ★本製品は本体と付属品で構成されています。装着作業の前に下記リストをご確認下さい。
構成に不足、不具合がある場合はお買い上げの販売店または弊社までご連絡下さい。
- ★本製品の初期不良について、弊社責任が明らかである場合を除き対応致しかねます。また使用後の不具合及び返品・返金等については一切の対応を致しかねます。
- ★本製品の使用により、使用者あるいは第三者が被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

構成品リスト	組付図
① 本体No. 1	
② 接続ホース (本体No. 1 に装着済)	
③ ホースバンド (本体No. 1 に装着済)	
④ 本体No. 2	
⑤ 本体No. 3	
⑥ シリコンキャップ (本体No. 3 に装着済)	
⑦ ノブ付ホースバンド	
⑧ 専用ブラケット	
⑨ ノブボルト	
⑩ クッションパッド	
⑪ 落下・転倒防止ベルト	

※必ず降雪前に一度車両に装着できるかを試着して確認して下さい。

『 装着手順 』

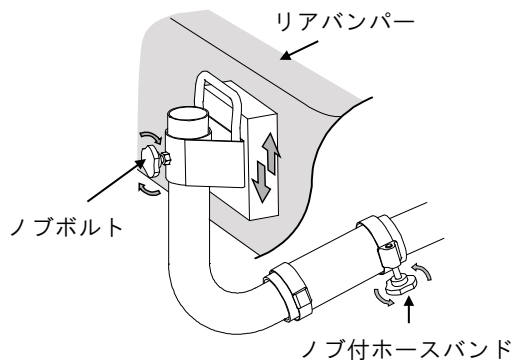
1. 専用ブラケットにクッションパッドを取り付けし、下図を参考にして専用ブラケットを本体No. 1 に挿入し、ノブボルトを使用して仮締め付けして下さい。
2. 本体No. 1 の接続ホースにノブ付ホースバンドを通し、排気管(マフラー)の出口を挿入して下さい。



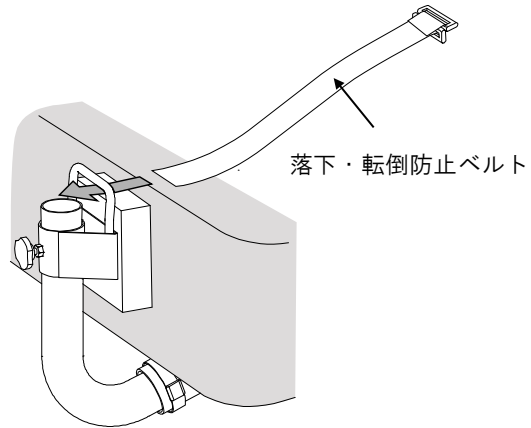
『 装着手順 』

3. クッションパッドとリアバンパーの接触面に合わせて専用ブラケットの高さを調整してノブボルトでしっかりと締め付けして下さい。
4. リアバンパーとクッションパッドが接触する位置まで接続ホースを差し込んでから、ノブ付ホースバンドでしっかりと締め付けして下さい。
5. 付属の落下・転倒防止ベルトのマジックテープ面を上向きに専用ブラケットのクッションパッド側から通して下さい。

手順3、4



手順5

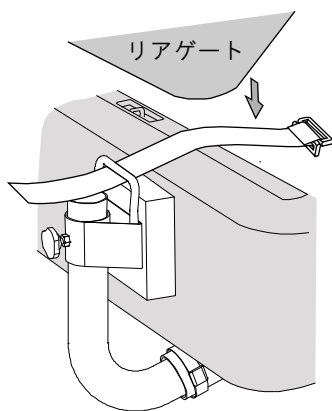


注意

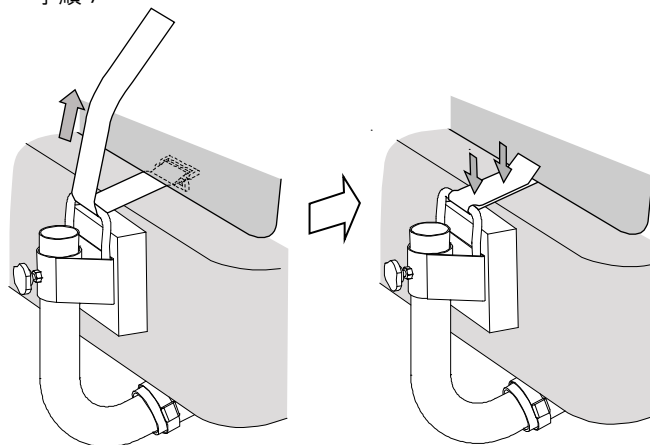
本体No.1の接続ホースが折れ曲がったり、ねじれたり、リアバンパーとクッションが接触していない場合は、差し込み量の調整して下さい。更にリアバンパーとのクリアランスが広い場合は車両側から一旦取り外し、ホースの長さを車両に合わせて調整（カット）してから再度装着して下さい。

6. 車両のリア（トランク）ゲートを開け、ベルトのバックル部分を車内に置いた状態で閉めて下さい。
7. ベルトを引っ張り上げてバックルが固定されたことを確認し、突っ張った状態でベルトを折り返してマジックテープにしっかりと貼り付けして下さい。

手順6

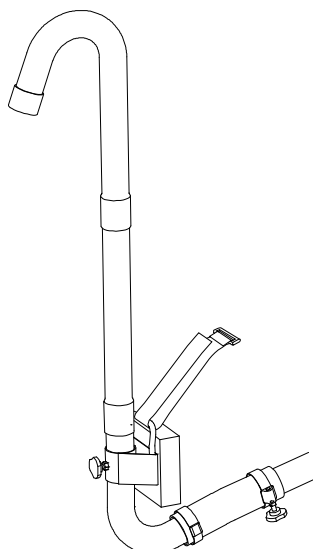


手順7



『 装着手順 』

8. 本体No.1 に本体No.2 を差し込んで装着して下さい。
9. 本体No.2 に本体No.3 を差し込んで装着して下さい。
10. 再度ホースバンド、ノブボルトをしっかりと締め付けして下さい。



11. 本体と車両との位置関係やクリアランス（隙間）を確認して下さい。本体と車両が接触している場合や、不具合があったら、再度組付作業手順に従って締め直して下さい。
クリアランスの不足を放置すると異音や加熱等の原因になり、**重大な故障に発展する場合があります。**
また、**樹脂バンパーの場合、熱で溶けます。**
 12. エンジンを始動して排気管出口部分からの排気ガス漏れや異音がないか？ 確認して下さい。
 13. 不具合が発見された場合、使用を中止し、再度組付作業手順に従って締め直して下さい。
 14. 使用後は、本体を水道水で良く洗い、タオル等で水気を取った後、風通しの良い所で保管して下さい。
- ★ 以上でSNOWKELの装着が完了しました。
- ★ 使用中は必ず定期的に換気・装着状態の確認・点検を行って下さい。

- ★ 本製品は積雪時に排気ガスを雪の外に排出する排気補助部品です。走行時には使用できません。なお、装着して公道走行した場合、保安基準適合外となります。
- ★ 本製品の使用により車両や乗車員の安全を保障するものではありません。
- ★ 都道府県など自治体により、アイドリングストップに関する条例があります。該当地域の条例をよくご確認のうえ、緊急時以外のご使用はおやめください。
- ★ 本体は使用中及び使用直後は高温になります。火傷に注意して下さい。
- ★ 本製品の使用により、使用者あるいは第三者が被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

本書の内容の一部または全部を無断で複写・複製・転載することを禁じます。

藤壺技研工業株式会社

お客様相談係 TEL.055-998-0130

- ◇ 製造・発売元
- ◇ 取扱説明書番号
- ◇ 初版作成年月日

藤壺技研工業株式会社
07020001-1
2024年 1月 8日